

ふくしのまち清和台

清和台コミュニティ協議会 福祉部会 広報部

連絡先 清和台くらしの相談窓口「こころ」 Tel 799-2940 Fax 799-2941

令和 4 年
1 月 9 日発行
第 19 号



部会長のことば



ごあいさつ

福祉部会長 穂垣和宣



この度、急遽、部会長を仰せつかることになりました。就任当時はコロナ禍で、ほとんどの事業が中止を余儀なくされていました。このような中でも状況にあった方法はないか、スタッフ一同知恵を出し合い模索しました。その意図は「手をつなぎ、こころ育てる」を最重要視点とし、地域全体を明るく住みやすくするとともに、その基盤となる住民相互の親睦をはかることにあります。

コロナ禍が下火となり、待ち遠しい事業も再開できる状況になりましたが、まだまだ予断を許さない現状が続きます。感染予防対策をして皆さんに喜ばれる企画が出来るように、微力ですが努力していきたいと思います。皆様におかれましては、何とぞ、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年度4月～11月の各事業の活動内容の紹介をします

ふれあい・ささえあい・こうりゅう

くらしの相談窓口「こころ」

福祉の拠点・地区の課題発見の場

- ◎ 電話・来所による各種相談・問い合わせに対応
- ◎ 高齢者のおひとり暮らしの方で希望する方に電話での安否確認
- ◎ 認知症行方不明者の場合は、認知症サポーターに連絡
- ◎ 成年後見制度の相談についての取り次ぎ
- ◎ 助け合いネットワーク(ボランティア)の受付、コーディネーターへ取り次ぎ
- ◎ 車イス・楽器・その他の備品の貸し出し
- ◎ 地域包括支援センターとの連携



相談窓口



スタッフは年3回の研修を行い、スキルアップをしています。また年1回、相談員としての講座を受講し、地域住民の方々に寄り添えるよう“こころ”を磨いています。

相談員には守秘義務があります。

月～金 9:00～16:00



さんりんしゃ

赤ちゃん・未就園児と保護者の交流の場

兵庫県では親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合ったり、お互いに情報交換等を行う「町の子育てひろば」が開催されています。「さんりんしゃ」は主任児童委員を中心に民生児童委員・民生協力委員・福祉委員が運営している「ひろば(集い)」です。



「引っ越してきて、お友だちがいないの」「幼稚園はどこに行こうかな」

「予防接種は終わった？」などお話しください。

「さんりんしゃ」はお母さんがリフレッシュしてもらえる企画を考えています。気軽にお越しください。地域の子どもは地域で育てましょう。

第2水曜日 第三自治会館・友楽園など

ふれあい広場

地域交流の場

会場を友楽園から第四自治会館に移し、10月14日、ようやく開催できました。参加者は10名で少



し寂しいスタートでしたが、ナニフラハンズさんの華やかな舞台装置とフラダンスで盛り上がりました。

11月はアンサンブルコパンさんの軽音楽。ギターとマンドリンの迫力あるナマ演奏を「ああ、こんな場に飢えていたんだワ」と笑顔で話す参加者さんは19名。



ギター・マンドリン
演奏

12月はマジックショウ！ 28名が「ええっ！」「わあっ！」、拍手。笑い声とにぎやかで不思議なマジックの世界を楽しみました。回を重ねるごとに参加者が増え、そのほとんどが清和台西にお住まいで初めてお目にかかる方々でした。

第2木曜日 1:30~3:00 第四自治会館

オンリーワン

障がい児(者)・家族との交流の場



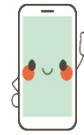
オンリーワン交流会では障がいのある方・ご家族との交流を通し、バリアのない、地域で誰もが楽しく暮らせるまち作りを目指して活動しています。本年度はお手伝い交流として、川西養護学校前のひまわり畑作りに参加しました。真夏の空にそびえる一面のひまわりに心いやされました。

11月にはコロナ禍のため、内容を従来の「カレーパーティー」から「ビンゴゲーム大会」に変更して開催しました。秋晴れの青空の下、参加いただいたみなさまの笑顔が印象的なひとときでした。



ひまわり畑

つながいサポート 事業化に向けて



地域でつながりあえるコミュニケーション手段の一つとして、スマートフォンなどのデジタルツールを活用したサロンを考案中です。

今後ますます便利になっていくデジタル化に、みなさんが対応できるための事業を目指しています。



ひとやすみカフェ 認知症カフェ

トナリエ清和台 2 階「café muku」店のご協力をいただき、トナリエ清和台と清和台地区福祉委員会の共催で運営しています。認知症に予防効果のある「香り」をテーマにしたカフェです。

月替わりのフレバーティーを提供し、店長が香りの説明をいたします。

毎月違った香りの紅茶を楽しんでいただきます。音楽演奏会を開催しています。演奏をしたい方・聴きたい方は是非ご参加ください。



ウクレレ演奏

どなたでも参加いただけますので「ホッ」とひとやすみにお越しください。

※ 地域包括支援センターの専門相談員による相談コーナーを設けています。気軽にご相談ください。



第 4 水曜日 1:30~3:00

トナリエ清和台 2 階「café muku」

参加費 100 円（紅茶・デザート付き）

なごみ「和」カフェ 日曜午後の和みのひととき

10 月から 2 年ぶりに「和カフェ」を再開しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために検温・体調チェックをしています。換気にも気を付けていますが、マスクの着用をお願いします。

日曜午後のひと時を一緒に楽しみませんか？おしゃべりや簡単な体操をしたり、歌を歌ったりしています。お一人でも、お友達とお誘い合わせてでもお越しください。



歓談のひととき

第 3 日曜日 1:30~3:30

第一自治会館 参加費 100 円





助け合いネットワーク 地域の助け合い

助け合いネットワークの登録ボランティアが、高齢者・障がい者・病弱な方を対象に支援活動を行って約 10 年。この間、少しは地域のみなさんのお役に立つことが出来たろうかと思ひ返しております。

ただ専門家ではありませんので、ご満足いただけない点もあろうかと思ひます。また、お困りと思ひつつもお断りする場合があります。“お互いの助け合い”という思ひの活動を充分ご理解ください。

なお、活動に対しては無償・有償の選択ができます。支援内容に差はありません。



本年度は、コロナ禍のため“ふれあいまつり”その他の行事は行っていないです。

詳細は同時発行のボランティア通信『たすけあい』18 号をご参照ください。

本年度 総支援数(4 月～11 月) 合計 308 回 実働 344 名

※ 登録ボランティアのみなさん、ご苦勞様です。今後も引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。

認知症行方不明者 SOS ネットワーク 地域で見守る応援者

活動の一つに「認知症サポーター養成講座」があります。「認知症になっても安心して暮らせるまち」をめざしてサポーターの輪を広げています。



コロナ禍で、今年度の講座はトナリエ店舗の方向け、自治会理事さん・一般の方向けと 2 回しか行えていません。例年は小学生対象の講座も行っています。他人事ではなく自分のこと・自分たちの地域の^{ひとごと}こととして捉えることが出来るよう、以前と変わらない暮らしを続けていける清和台をめざして活動しています。

編集後記

コロナ禍に見舞われてから 2 年、福祉部会の活動も大きな困難と制約に見舞われました。そのような中でも、何とか活動はできないかとあれこれと考えをめぐらしながら進んで来ました。そして近頃は「ウィズコロナ」と言われるように、状況に対処する方法を社会全体で身に付けてきたように感じられます。

これからしばらくの間、推移を見つめながら清和台地区の福祉活動を進めていきたいと思ひます。ご理解及びご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

各活動・事業は新型コロナウイルスの感染状況により、変更または中止となる場合があります。自治会新聞・自治会掲示板にご注意ください。

